



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

171

國家圖書館出版社

六月三日

も朝鮮も有日は諱を以て
日本太陽の出でてアキラ
ハヨリ意識した。右日は
とつた。

六月四日



国家出版基金项目

國家圖書館 編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

171

第一七一冊目録

昭和十五年（一九四〇）調査報告（第三十七期生）

北京に於ける絨氈工業

北京の地毯工業 日野原朝典

一

河北省定縣の財政

河北省定縣的財政 斎藤保夫

一六九

北支那經濟開發ト日支合作問題ニ就テ（一）

華北經濟開發與日中合作問題（一） 阿部善種

二九一

北支那經濟開發ト日支合作問題ニ就テ（二）

華北經濟開發與日中合作問題（二） 阿部善種

四一一

北支那經濟開發ト日支合作問題ニ就テ(三)

華北經濟開發與日中合作問題(三) 阿部善種

北支に於ける自動車交通に就いて

關於華北的汽車交通 蜂巢一郎

六七七

昭和十五年度

北京に於ける絨氈工業

河北省調査第二班

日野原朝典

第三章 紡織者 の分析	第四節 各經營形態 の存在限界	第三節 北京絨毛工業 の存在限界	第二節 各工場の經營形態 の具体的內容	第一章 原綿仕入、生產、 製造、販賣の諸行程	第二章 工業組織	第一節 北京及天津に於ける 絨毛工業の地域的分布	第一章 支那絨毛工業の概觀	日次
-------------------	-----------------------	------------------------	---------------------------	------------------------------	-------------	--------------------------------	------------------	----

日野原朝輔

第四節	六、衛生狀態	五、結婚時間及夜業	四、勞働時間	三、休日	二、貨銀及寄食制度	一、年齡分析	第三節	職人	第二節	勞働者之供給	第一節	織工場の人的構成
-----	--------	-----------	--------	------	-----------	--------	-----	----	-----	--------	-----	----------

附三 徒弟規則	附二 證書類	附一 資本、營業稅、家貸、職人、織機、園丁統計		第五章 結論	第二節 勞働組合（工会）	第一章 同業組合	第四章 勞資的組織	第五節 福祉狀態
				影響上今後の問題	今次事變の支那紗廠工業之與一、九三			

附
四、
同業公會規則

日
次
總

第一章 支那絨毛工業の概観

支那	第一章 支那絨毛工業の概観
に	
於	
て	
地	第一節 絨毛工業の地域的分布
毡	
又	
は	
毡	
子	
と	
呼	
ば	
れ	
る	
絨	
毛	
は、	
支	
那	
羊	
毛	
の	

剛直粗太な性質を最も有効に利用したものが主

と
し
て
天津
ヨリ
包頭
に
至
る
京
包
線
一
帶
に
於
ニ
製
造
シ
れ
て

居リ天津及び北京を以てその中心とする。原产地は中國

央アジアベホガ西漸ヘルスペルシヤ纏麿となり、東

漸して支那絨観となりつたものであつて、從つて東漸の経過地

毛織工場、模様、製織法等に於て夫々特色を有して

況を述べて見よ。	今占領地區に於ける事變後の生産状態につれてその概	工業として營むる。	あるが、陝西、綏寧、山西等の諸省に於ては獨立の手	ある家内職人によつて家庭用たりに製織され小てゐる様	疆チベット、甘肅寧夏の地方に於ては自己の家庭に	へんの發達史に一區劃を與へられることに至つた。現在新	朝に至つて康熙帝、乾隆帝の美術工業獎勵の影響を受け	長期間ニテ絨織製織には特別な發達しなかつたが、清	みると言はれる。
----------	--------------------------	-----------	--------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------	----------

宮頭に於ける絨氈工業については安齋氏が詳細な研究を發表されたる如く(満鉄調査月報昭和五年五月号)昨年一月に於て合計六十人の製織職人(染工)を有す。七工場が存在してゐたのである。現在(本年六月下旬)ニ工場が停業し五工場によつて生産されである。次々と通りべある。厚和に於ては一九三五年に二十工場があつたが現在は天順勤工廠一五十人(徒弟七十人を含む)純義恒工廠十四人(徒弟四十五人を含む)

天義興工廠	大有恒工廠
一毛布	三十人(徒弟三人を含む)
靴筆の兼營にして絨龜職人は五人	
他に職人二十三人名を有する事場一軒。	
現在次の如く僅がニ軒あるのみである。	大同は現在次
職人五人、徒弟一人なし	隆記毛廠一親方一人、職人三人
織機二台	林記毛廠一親方一人、職人五人、徒弟一人
張家口には不明であるが現在二~三工場がある。	又太原には事變前二~三工場がある。
現在二~三工場がある。	といふ話があり、又太原には事變前二~三工場がある。
現在二~三工場がある。	た様であるが、現在はすべて停業中である。

以上	外山東省	に於て	は十二工場	が存在し	相當製織	七小	てゐる。
九年	濟南	に於て	は十二工場	が存在し	相當製織	七小	てゐる。
工場	あり	たが	現在は僅に	地方の需要を充	て以前は輸出に	したが、	現在は次々
同盛和工廠	資本三千元	一人資本一千元	合資	職人二十二人	輸出に充てら	してみる。	一九二
春得利工廠	資本一千元	一年三十九平方市尺	製織	職人十三人	りに	三	
人從事織機二台	資本三百元	一年五百平方市尺	製織	織機四台	三		
祥記工廠	十資本	一年三十平方市尺	製織				
人從事織機二台	合資	六人	外に家族二				

(山東省公署建設廳第三科、民國二九年六月調查)

青島は民國二十一年六工場年產額六万えべあへた

が現在は外人の經營にかゝらず Carpet Factory があ

る(青島商工會議所)外土著工場にては不明である。

上海にては一九二九年當時三十數軒の工場を有し、相

當大規模の工場もあつた様であるが、現在詳細な事は不

明である。

次如くなる。(民國二九年夏戰後上海市暨全國各大工廠調查)

錄 民國二九年上海市工商調查所編「上海市工商行名錄」

據る。

大北地 毯公司	資本金二萬五千元	一九二〇年設立
中國地 毯公司	職工三十八人	
公義成 地 毯廠	資本金一萬兩	一九〇七年設立
北洋地 毯廠	資本金十 方元(五 方元?)	
金龍地 毯公司	資本金一 方元	
恒豐永 地 毯公司	資本金一 方元	
義昌恒 地 毯店	資本全 金二 方元	一八九二年設立
德盛永 地 毯號		